

## 第4回「(仮称)新教育総合ビジョン」策定有識者会議議事録

- 開催日時 平成31年2月25日(月)  
午前10時00分開会 ・ 午前11時00分閉会
- 開催場所 さいたま市役所 教育委員会室
- 出席者
- 委員 渋谷委員(委員長)、小野委員、長嶋委員、小長谷委員、青羽委員、石田委員、今溝委員、吉岡委員
- 所管課 教育総務課長、教育政策室長、教育財務課長、学校施設課長、学事課長、教職員人事課長、教職員給与課長、指導1課副参事、特別支援教育室長、総合教育相談室長、高校教育課長、健康教育課長、教育研究所長、生涯学習振興課長、人権教育推進室長、文化財保護課長、青少年宇宙科学館長、博物館長、うらわ美術館副館長、生涯学習総合センター副館長、管理課長、資料サービス課長
- 事務局 教育政策室: 参与、室長補佐、主査、主査
- 会議次第
- 1 開会
  - 2 議題
    - (1) 平成30年度下半期の振り返り及び今後のスケジュールについて
    - (2) 議会指摘及びパブリック・コメント等を受けての対応等について
    - (3) 2030年を見据えた有識者会議委員からの所感等について
    - (4) その他
  - 3 閉会
- 公開又は非公開の別 公開
- 傍聴者の数 0
- 配布資料
- (1) 次第及び座席表
  - (2) 第2期さいたま市教育振興基本計画素案
  - (3) 第2期さいたま市教育振興基本計画策定スケジュールについて
  - (4) 「第2期さいたま市教育振興基本計画(素案)」に対する意見募集結果(公表版の案)
  - (5) 議会指摘、パブコメ、時点更新等を踏まえての修正箇所一覧

## 1 開会

(司会：教育政策室長補佐)

- 司会 会議を始めさせていただきます。議事進行を委員長にお願いします。
- 委員長 本会議は非公開としない、すなわち公開としたいと思いますがいかがでしょうか。
- (一同異議なし)
- 委員長 では、傍聴希望者がおりましたら御案内下さい。
- 事務局 ありません。

## 2 議題

- 委員長 それでは、議題（１）「平成 30 年度下半期の振り返り及び今後のスケジュールについて」の説明を事務局にお願いします。
- (事務局より資料 3 を説明)
- 委員長 御説明ありがとうございました。質問等はございますか。なければ議題（２）に進みます。事務局から説明をお願いします。
- (事務局より資料 4 及び 5 を説明)
- 委員長 御説明ありがとうございました。
- 議会からの御指摘、パブコメを踏まえた修正とも 1 件ということですね。数字も現状に合わせて修正されましたが、それらについて御意見等はございますか。なければ、議題（３）に移りたいと思います。
- 教育政策室長 1 年間ありがとうございました。2030 年を見据えながら、教育施策を推進してまいりたいと思っております。本日は最後の会議ですので、第 3 期計画の策定も視野に入れながら、1 年間の振り返りの御感想と未来に向けた教育施策の在り方等について、委員の皆様から御感想等をいただけたらと思います。
- 委員長 では、皆様から順番に御意見ををお願いします。
- 青羽委員 学校教育と家庭教育の立ち位置の関係が重要だと思っています。今回の計画では「保護者」という表現が使われていますが、先々は PTA など、更に踏み込んだ表現もされるよう、我々も努力しなが

- ら、連携を深めていければと思います。
- 石田委員 何をすべきかがきちんと示された第2期計画が作られました。今後は、この原理原則に従って、更に内容を精査しながら進めていくことが大切だと思います。
- 今溝委員 10年後を見据えた計画ですが、何が起きるか分からない時代です。途中での計画の見直しが必要になるかもしれません。平成が終わり、新しい時代が始まりますが、予測のできないことが起きないか、心配な面もあります。そうした時に、この計画がまとめられたことは意義あることだと思います。
- 吉岡委員 この計画は、全国的に見ても先進的で、一步踏み込んだものとなっていると思います。最近の高校生は大人しくてまじめではありますが、自分で考え行動することは苦手な印象です。この先の日本を背負って立つ若い人材を育てなければいけないと感じています。それを、このプランを通して、実現することが肝要かと思います。
- 小野委員 計画の策定にあたり、基本的な構想としてまず時間軸と空間軸を立てられたことを伺い、捉え方が変わってきたのだなと実感しました。時間軸と空間軸は分かりやすいようですが、主観的な捉え方は様々で、等しく与えられた時間でも、その使い方での大きな違いになりますし、空間については、人の移動や情報の流れはこの10年でも大きく変わったようにも思いますし、本当に社会は広がったのかとも思います。
- 時間と空間という軸を立てながらも、それらがどのように変化していくのかが、これからのポイントになるだろうと思います。
- 人生100年という表現もありましたが、10年ごとに区切ると100年は、何かを達成しようとするには必ずしも長くないと捉えるようになったと感じました。
- 資料編のアンケートの結果から、立場によって意識は必ずしも共有されていないことが明らかですので、時間・空間・人が流動する中で、このような形になったものを提示するということが重要であると思います。
- 長嶋委員 様々な意見や世界情勢、要因がある中で、ここまで良くまとめられたと感心しました。日本一の教育都市を目指すということはとてもうれしいことで、次は、その実現に向けて現場が頑張らなければならないと思います。
- 小長谷委員 地域として初めてこのような場に参加させて頂き、社会の中で、子どもたちが一人でもたくましく生きていけるように、地域として

も育てていきたいと思っています。

早速、教育委員会からコミュニティ・スクールの設置というお話もいただき、地域でも、しっかりとした受け入れ体制をつくらなければなりません、ボランティアなどの人材がだんだん少なくなっている現状がありますので、このような場があることを周知していただければと思います。

委員長

学級通信・学校便りといったものを町内会で配るなどして、お子さんのいない家庭にも届くようになっているのでしょうか。

小長谷委員

地域によって違うと思います。

委員長

私も、よくここまで仕上げて下さったと思いました。様々な項目が表・グラフですっきりと、体系化されて示されていますので、教育の現場でも、市民の方でもさいたま市の教育の特徴の把握がしやすく、また、分析・課題もきちっと書かれています。また、書かれた人の思いが伝わる文章もあるなど、本当によくできていると思います。

私は、持論ですが、豊かな人間性にとって共感する力と想像力、イマジネーションが重要だと思っています。計画の中に、共感力は1か所出てきますが、想像力のほうはなかったように思います。2030年に向けて、想像力についても注目いただけるとありがたいと思います。なぜなら、感性と知性が人間に必要と言われますが、この二つはそりが合わないのですね。その間を取り持つのが想像力ということです。

他に、御意見があれば伺いたいと思います。

青羽委員

さいたま市の場合、教育委員会と市民の間の距離感が良い、風通しが良いと思っています。

先ほど申したのは、家庭と一緒に直していかなければならないこと、家庭に対して「もっとしっかりしろよ」という意味の表現があってもいいのではという思いがあつてのことです。地域に対しては言えるように、だんだんとなってきましたので、次は家庭に向けて言えるようになればいいということです。

石田委員

今後は、この計画の周知と実行が重要だと思っています。様々な意見がありますが、これに則ってさいたま市の教育は進めますということをおぼれずに、強く打ち出し、この内容に地域を重ねて特色を出していくということが必要とされるのだと思います。

今溝委員

現場では、負担感が先に立つことが多いので、この計画をどのように浸透させるかということが肝心の点になると思います。例えば

「心を潤す4つの言葉」といったような、噛み砕かれた簡単なフレーズがあれば、浸透しやすいのかなと思います。

吉岡委員

計画ができましたので、次はこれを現場で実際にどのように行うかが問われると思います。教員がどのくらい真剣に取り組めるか、我々の役目はこの計画をどう浸透させるかということになります。高校では人材育成が急務ですが、中学校の先生が高校に入るなど、新たな取組が始まりました。そうしたことも踏まえて、これからの高校の在り方を考えていかなければならないと感じています。

委員長

皆さん、ありがとうございました。以上で、私どもの感想を終わりにさせていただきたいと思います。

では（４）その他 についてお願いします。

（事務局より今後のスケジュールを説明）

委員長

それでは、以上で本日の議事を終了します。御協力ありがとうございました。

進行を事務局にお返しします。

### 3 閉会